

会議議事録

会議の名称	第2回 新居浜市SDG s 推進プラットフォーム幹事会
開催日時	令和5年9月26日(火) 15:00~16:45
開催場所	新居浜市消防防災合同庁舎 5階 災害対策室
出席者氏名	委員5名(小林委員、近藤委員、竹内委員、檀委員、松田委員)
欠席者氏名	飯尾委員、永易委員
事務局	新居浜市企画部総合政策課
会議次第	議 事 1 分科会の提案状況について 2 今後のスケジュールについて 閉 会
配付資料	・資料 第2回新居浜市SDG s 推進プラットフォーム幹事会資料

議事内容（要旨）	
開会(小林幹事長)	<p>定刻がまいりましたので、ただ今から「第2回新居浜市SDGs推進プラットフォーム幹事会」を開催いたします。</p> <p>本日は委員の皆様方にはご多忙の中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本幹事会は、「新居浜市SDGs推進プラットフォーム設置要綱」に基づき、プラットフォームの活動内容等を審議するため、設置されるものです。</p> <p>また、本幹事会につきましては、「審議会等の公開に関する要綱」に基づきまして、全部公開となっておりますこと、議事録等につきましては後日、新居浜市のホームページにおいて公表されますこと、あらかじめご承知くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは議事を進めてまいります。一つ目の議題である「分科会の提案状況について」事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分科会案の提案状況について報告 ・提案を受けての事務局としての考えについて説明
小林幹事長	事務局の説明に対しましてご質問はありませんか。
分科会提案1についての意見	<p>(小林幹事長)</p> <p>森のタンブラー制作についての案ですが、例えばアサヒグループジャパン（株）と住友林業が一緒に実施するという可能性もあると思うので、分科会会員へ呼びかけのようなことができればよいと考えます。</p> <p>また、リユース食器について、子供の頃から、身近にSDGsに触れるといった観点から、給食の食器に利用するのも良いかと感じました。</p> <p>(竹内委員)</p> <p>森のタンブラーについての案ですが、災害時のリユース食器に使用方法があり、全国にあるリユース食器ネットワークにて、災害時には、多種の食器の保有や、輸送を行う仕組みがあるので、新居浜市でも発信型で災害時対応の学校給食の食器としての活用が考えられます。</p> <p>(近藤委員)</p> <p>食器洗い洗浄機での使用が可能かどうか、また、耐熱温度の説明があるとわかりやすいと思います。また、現在のプラスチック食器は、中身が少なくなると不安定でこぼれやすいため、そういったことも考えたようなメッセージ性を持たせてもよいかと思っています。</p>

	<p>(竹内委員)</p> <p>提案1と提案2の内容は重複する部分があるように感じます、分科会としてまとめることができるか、意見のぶつかり合いにならないかわからない部分があります。</p> <p>(小林幹事長)</p> <p>提案1と提案2については扱うものはペットボトルですが若干内容が異なり、プラスチックのどの部分であるか、分業でできることがあるものなのか。例えば、共同意見交換会を行うことで、相乗効果をねらうことができるのではないかと思います。</p>
<p>分科会提案2についての意見</p>	<p>再掲 (竹内委員)</p> <p>提案1と提案2の内容は重複する部分があるように感じます、分科会としてまとめることができるか、意見のぶつかり合いにならないかわからない部分があります。</p> <p>再掲 (小林幹事長)</p> <p>提案1と提案2については扱うものはペットボトルですが若干内容が異なり、プラスチックのどの部分であるか、分業でできることがあるものなのか。例えば、共同意見交換会を行うことで、相乗効果をねらうことができるのではないかと思います。</p>
<p>分科会提案3についての意見</p>	<p>(小林幹事長)</p> <p>障がい者の芸術活動自体は沢山存在するのですが、社会課題に結びつく国籍関係や男女LGBTQなどの提案がないことが気になります。新居浜特別支援学校のプラットフォーム加入はどのようになっていますか。また、障がい者のために、分科会をこちらから提案できないでしょうか。松山市のことですが、障がい者の団体は遠慮されて、提案がなかなかでてこないのが現状です。</p> <p>(事務局)</p> <p>現時点では、プラットフォームに新居浜特別支援学校は加入していただいていないので、今後アプローチしていきます。理想としては17の目標があり、目標毎の分科会の提案があればよいのですが、場合によっては、事務局からの逆提案についても可能であると考えています。</p> <p>(竹内委員)</p> <p>ABC 分科会について相談を受けていましたが、分科会名称欄に Akagane Be the Change の略称との説明があり、Able Art や Agriculture など、障がい者アート、国際関係やLGBTQ等もふまえて、Akagane つまり新居浜で何でもできる場所にしたとの希望をもってキャッチフレーズを記載しています。</p> <p>SDGs アートフェスティバル新居浜が始まった時から関わっていることも踏まえ、</p>

	<p>これまで世界のアートを集めて展示した経緯を引き継ぎつつ、美術館と市、教育委員会と2030年まで実施したい、それに関連して市の関連部署とパートナーシップでしましよといった関係性を確認しながら行いたい、ということを行っています。また、市として場所の提供・確保が可能であれば、市民からの提案を受けた対等な立場で行うことができます。</p> <p>運営については、様々なアイデアがあるため、自主的な運営も考えられます。特に今回は障がい者アートに力を入れたい、他にはアグリカルチャー農業の普及の思いもあり、老人ホームに隣接する幼稚園に花を植え、野菜の栽培を進められたらよい、と考えているようです。</p> <p>様々なアイデアをだして沢山集まるのはよいと思いますが、市の担当部署との協議を進めながらやると良いと思います。パートナーシップの8つの階段（住民参加・市民参加のはしご8段階のこと）のように、市民も市も「一緒にやりましよう」なのか、「応援します」なのか。また予算関係について市の予算としてあるのか、或いは一緒に資金獲得しましようなのか、それにより度合いが見える化でき、活動の成果として結果が現れるのではないかと思います。</p> <p>この分科会では、新居浜から出て行った若者を呼び返したい思いが含まれていません。アートフェスティバルでは審査員は市民となり、或いは新居浜にゆかりのある方が参加型で賞を決めること等により参加を促して関係人口を増やしつつ、審査の労力は省力化できるのではないかと考えています。</p>
<p>分科会提案4についての意見</p>	<p>(近藤委員)</p> <p>このようなセミナーは多く存在するため、例えば、従業員に浸透させるだけでなく、様々な企業が参加し、ファシリテーターやリーダーを育成する立場を担う方法もあるかと思っています。</p> <p>また、学校でSDGsやESDを教えている先生が内容に行き詰まることや、教えていた先生が異動することにより、後任の先生が成果をどのように展開するか悩んだりすることもあるので、学校へのサポートにより、働き方改革に手を差し伸べることができるのではと感じます。</p> <p>(檀委員)</p> <p>近藤委員さんの意見と同様で、個別のワークショップで留まることなく、広がりがある形で実施していただけるのかなと思います。</p> <p>(竹内委員)</p> <p>活動計画書の目的に、「プラットフォームクローバーの活用を検討する」とあり、これは法政大学の川久保研究室が公開しているものだと思いますが、もう少し追加</p>

	<p>説明が必要だと思えます。</p> <p>また、最初は自走で行うが、3つの分野の地域課題を解決するために、将来的に生涯学習センターのメニューに統合するなど柔軟に統廃合（機能的統合）を行うのもよいかと思えます。</p>
<p>分科会提案1～4を通じての全体的な意見</p>	<p>（竹内委員）</p> <p>現在の会員の加入状況ですが、市内の小中学校はすでに全て加入されていますか。</p> <p>また、小中学校で進めているESD推進協議会でも発言したのですが、小中学校まではESDを学習しますが、高校になるとそれが途絶えてしまう傾向にあります。高校への声掛け方法はどのようにしていますか。</p> <p>分科会の活動計画書が提出された際に、市では提案団体にヒアリングを実施していますか。</p> <p>また、活動計画書の様式1号についてですが、活動スケジュール、予算の確保について、中心人物は誰か、運営方法どのようにするかなど、内容を把握するために必要な情報であり、開示するもの、しないものと区別して項目としていれるのもよいかと思えます。</p> <p>また、分科会提案者に、市がSDGsプラットフォーム推進で示している「目指すべき地域課題」の解決にどのように繋がるか、がわかるように関連整理をする必要があると思えます。</p> <p>（事務局）</p> <p>現在、市内の小中学校の全校に加入いただいております。</p> <p>高校に関しまして、現在は南高のみが加入済みです。市内の全高校が加入いただけるように、引き続き声掛けを進めます。</p> <p>ヒアリングについてですが、提案書提出期限から幹事会までの期間が短く、深掘りしたヒアリングはできていませんが、直接、提案書を持参いただいた提案1、2、4につきましては、ヒアリングを行いました。</p> <p>提案3のにはまグローバルネットワークの小松氏には直接ヒアリングをできていませんが、ご提出いただいた代理の方へヒアリングを行いました。</p> <p>活動計画書についてですが、提案書を作成しやすいよう、最低限の項目にしています。これは提案のハードルを下げるとのことで、別途、詳細資料が必要な場合もあるかと思えますので、今後検討したいと思えます。</p>

市が目指すべき地域課題解決についてですが、活動計画書様式1号中、「解決すべき課題」に市の課題、期待される効果、その課題解決に向けた効果について記載いただくことを想定しています。10/31にプレゼンを行っていただく際に併せて提案者に説明していただくこととします。

また、事務局用の様式にて、市の課題解決への繋がりを確認できるようにしたいと考えます。

(松田委員)

最初の一步が重要で、新居浜市として17の目標の優先順位や、どこに重点を置かなどが決めておかなければ、まとめが難しくなるのではないかと感じます。

また、4つの提案に賛同することにより、輪が広がり、計画書を参考に「うちはこんなことを考えました」と新たな提案が出てくるのではないかと思います。

竹内委員と同じ意見ですが、ターゲット、メンバー構成、予算(経費、どこから出るのか、市からの支援はあるか)、事業開始時期、何年計画であるかなど見えていない部分があり、予算がなくなると活動が止まってしまう可能性もあるので、計画に基き実行する必要があります。

(小林幹事長)

松山市の分科会は立ち上がり2年目から、分科会で今年何を行うか決めることとしています。

スケジュールは重要であり、評価をするためではなく、実現可能性のある数値目標を決め、見える化することを分科会の中のコンセンサスとして決めておかなければ、活動が滞り時間だけが過ぎることもあります。

また、見える化することにより、進捗状況の管理がしやすく、遅れが発生した場合は、幹事会から解決案を提案することができます。

先ほど竹内委員さんや松田委員さんからご意見があった様式の件ですが、次回に向けて工程表が必要です。規定上、更新や見直しはありますか。

(事務局)

更新や見直しはありませんが、年度末に活動報告をいただき、翌年度も分科会としての活動を継続するのであれば、翌年度の活動計画を提出いただくこととなります。

(小林幹事長)

様々な団体・企業が会員であるため、10/31の全体会のプレゼンのときに、プレゼンの目的や分科会の今後の方向性などの確認を全体で行ってください。また、プレ

ゼン発表項目の整理が必要で、特に工程表については大切だと思っています。

(松田委員)

活動計画書様式中、期待される効果について、市民の方、小中学生にもわかりやすく、活動の結果どうなっていくのか最後まで記載することが必要です。

(小林幹事長)

市の地域課題に対し、アウトプットの段階から関わる活動があるかもしれないし、アウトプットではダイレクトに地域課題には繋がらないけれど、活動を継続することにより地域課題の解決に繋がるなど、アウトプット、若しくはアウトカムで地域課題に必ず紐づかせることが必要です。

(松田委員)

この4つの提案が最初に出ると、どうしても先行してしまうので、例えば、17の目標のパネルを用意し、それぞれ好きなことを書いて、「同じ意見ですね一緒に活動しませんか」といった繋がりを作り、そこに～課がここを応援しますや、ここを掘り下げてみますか、など筋道を立ててあげたほうが、先手をとられた感じはしないと思います。

(近藤委員)

松田委員と同感で、分科会をつくらなくても同じ興味のある団体が集まるのも良いと思います。

(事務局)

松田委員さん、近藤委員さんの提案ですが、良いご提案だと思います。次回の全体会、10月31日は予定が確定しており、時間の都合上難しいですが、今後、松田委員ご提案のワークショップを行い、近藤委員さんからご提案いただいたファシリテーターの養成が進み、コーディネートしてもらおうワークがあってもよいかと思っています。

(事務局)

4団体各15分程度でプレゼンをしていただき、質疑応答後、ざっくばらんに話をする時間も必要だと考えているため、小グループで名刺交換の時間を設ける予定です。それを聞いたうえで、分科会に入りたい団体さんがいましたら新たなメンバーとして参加し、活動を開始していただくイメージです。

分科会の工程や活動内容を明確にすることは必要ではありますが、分科会提案時にそれを提案者に求めすぎると、提案のハードルが上がってしまい、ほとんど分科会が立ち上がらないことを懸念しています。

ですので、提案時には少しハードルは下げ、自由に提案できるような仕組みにしています。

事務局としてしっかり内容確認しておくべきだと思いますが、確認しすぎることでより提案を辞退されることは避けたいです。

また、費用面についてですが、市が全ての分科会活動費を負担することは困難であるため、基本的には、提案していただいた団体の負担で活動していただき、自走していただくことを想定しています。

ただし、市役所関係部署が人的支援、場所の提供、ノウハウや情報提供、情報発信など、できる支援は沢山ありますので、しっかり関わっていくつもりです。

(小林幹事長)

プレゼンの内容についてですが、事務局の負担がかかる話のため無理は言えませんが、負担感を減らす方法として、伴奏型の支援があり、簡単でいいので、例えば1年間にイベントを何回行うか、会員をいつまでに何人増やすかなど、インタビュー形式でKPIを聞き出し、それを書いてくださいといったような数値目標を聞き出す方法があります。任せきりは負担が大きくなるため、聞き出しながらの発表資料が作れるとよいと思います。

ハードルは上げすぎではいけないので、こちら側がどういった提案か見せてもらうといったことより、それぞれの分科会自身が前を向いて自走化できるドライビングフォースエンジンとしての目標や目的、スケジュールについて、途中で変わってもよいので、最初の段階で提示してもらうことについては幹事会として意見は一致していました。

各提案者に、幹事会からの発表内容について意見をお伝えいただき、丁寧に質問を受けながらご対応をお願いします。

(竹内委員)

提案ですが、壁に各ターゲットを貼りだし、付箋に「4番のESDの推進に興味があります。44番竹内」と記載し、誰が何に興味があるのかがわかればマッチングできるかもしれないです。意見集約にもなると思います。

(事務局)

10/31の全体会の合間に、後ろにターゲットを提示し、休憩時間に付箋を貼っていただくことはできますが、参加者個人としての意見なのか、会社としての意見とすべきか悩みます。

	<p>時間の都合上、その場でワークをするのは難しいため、付箋を貼っていただいた内容は、後日報告とさせていただきます。</p> <p>プラットフォーム加入時の申請書には、各団体等がどの目標に関心があり、力をいれているか等を記載していただくことになっていますので、事務局では内容を把握しています。</p> <p>(小林幹事長)</p> <p>団体としての意見で、各団体3つくらいまでをお願いします。 ポストイット専用のアプリで写真を撮ることにより、共有がしやすくなります。</p> <p>(竹内委員)</p> <p>また、プレゼン時には必ず5W1Hを入れて具体的な発表をご案内ください。</p> <p>(事務局)</p> <p>4つの提案者に通知する際には、タイムラインやスケジュール感、成果、目指している事、どういった団体と一緒に活動したいかをわかりやすく具体的に記載してもらうように案内します。</p> <p>組む団体により活動内容も変わってくると思うので、プレゼンの時点では具体的な構想がまとまっていない提案者もあるかもしれません。 時間は1団体10分のプレゼンで質疑応答が5分の合計15分としております。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールについて</p> <p>10/31 は竹内委員のセミナー／分科会のプレゼン／17の目標で関心のあるところを記載するワークも入れ、全体で2時間としております。</p> <p>それ以降ですが、1月に幹事会を開催し、分科会の進捗状況の報告と、今後の内容について審議していただく予定としています。</p> <p>2月25日は教育委員会との共催で文化センター大ホールにてセミナーがあるため、（去年はSDGsの内容であればれる君）それをプラットフォームセミナーとして開催したいと考えています。午前、午後1回ずつ講演がありますのでご参加をお願いします。</p> <p>その他としまして、現在の会員数が、106団体となったため、今年度中の目標を</p>

	<p>150団体に上方修正しました。それに伴い、来年度の目標は250団体としました。</p> <p>分科会の活動については、当初の目標通り今年度は3つの分科会を立ち上げ、来年度は10の分科会を立ち上げる目標としています。</p> <p>今回のプレゼン後、会員に対し、入りたい分科会はありますかといった照会を行い、11月下旬ぐらいから分科会活動が始まるイメージとしています。</p> <p>今後は提案については随時受付を行い、一定の期間を空け、新たな提案のプレゼンの機会を設けます。</p> <p>今後のスケジュールについては以上です。</p>
小林幹事長	<p>市の予算で講師等を招いて、プラットフォーム会員が講演をきくことは可能でしょうか。松山市ではSDGsカフェといったものがあり、年4回実施しています。</p> <p>市から間接支援の内容の提示があれば、会員であるメリットがわかりやすく、また、スケジュールの中に組み込むことができるのであれば見える化することになり、よりわかりやすいと思います。</p> <p>また、松山市では去年までは事務局提案で講師の選定を行っていましたが、今年度から幹事から提案することに変更としました。</p>
事務局	<p>松山市程の規模ではないですが、講演、消耗品の予算は一部確保しています。講演等については、そのような要望がありましたら検討したいと考えます。</p>
竹内委員	<p>スケジュールについてですが、SDGsの世界の動向として、9月にサミット中間年として（1.食料システム、2.再生可能エネルギー 3.デジタル化、4.教育、5.社会的保護と雇用、6.気候変動・生物多様性の喪失・汚染との闘いが）6つの分野で大きなインパクトが見込まれるものとされていますので、そのような情報共有ができるとよいと思います。</p>
小林幹事長	<p>事務局からの連絡事項について、皆様よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、本日の幹事会を終了します。</p> <p>委員の皆様には長時間にわたり、ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。</p>